

# カーシェアリングと公共交通(都営地下鉄)を組み合わせたモデル事業

## ～環境に、もっとやさしい東京へ～

東京都環境局自動車公害対策部

交通需要マネジメント担当課長 村上 章

### ○ 求められる環境にやさしい交通手段

都内のCO<sub>2</sub>排出量の約2割は、自動車に起因しています。地球温暖化防止のためには、CO<sub>2</sub>削減のための環境にやさしい交通行動が求められており、その一つとして、最近、カーシェアリングが注目されています。

ここ1年の間に、カーシェアリング事業を行う会社が複数でき、また、カーシェアリング会員数も増えるなど、その認知度が高まりつつあります。

カーシェアリングは、複数の会員が車を共同で使うことで、自動車の走行距離や使用頻度を削減することができるとともに、自動車を所有する際にかかる維持費(駐車場代・税金・保険等)などの費用面でも、マイカー所有に比べ削減することができるため、お財布にもやさしい交通手段の一つといわれています。

また、最近では、交通系ICカードを利用した施錠管理ができるシステムを持ったカーシェアリング事業が行われ始めるなど、ICカードを中心として交通手段同士の結びつきも強くなってきています。

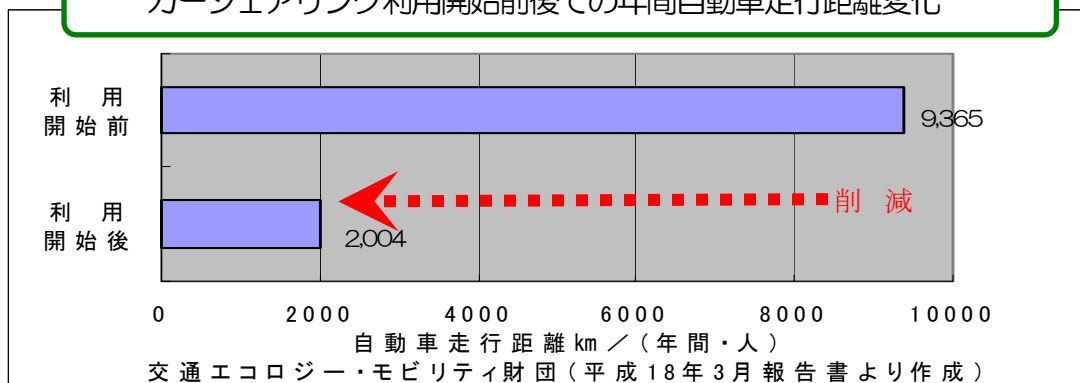


カーシェアリングステーション



パスモによる施錠

### カーシェアリング利用開始前後での年間自動車走行距離変化

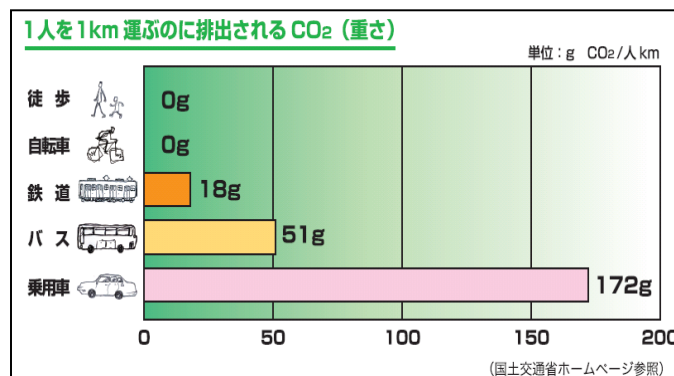


また、都内には、環境にやさしい交通手段である鉄道、バスなどが発達しています。その一つである鉄道は、1人を1km運ぶ際に排出するCO<sub>2</sub>の量が車の10分の1程度であり、環境負荷が低いといわれています。

東京の東方地域において、南は西馬込から北は押上まで走る全長18.3kmの都営地下鉄浅草線は、日々の乗降客数が約63万人で都民生活に欠かせない東京を代表する地下鉄の一つです。環境性能を向上させた車両を使用するなど鉄道自体でも環境対策に積極的に取り組んでいます。



都営地下鉄浅草線



#### ○ 地下鉄（東京都交通局）とカーシェアリング（オリックス自動車株式会社）との連携

公共交通機関が発達している東京では、これらの交通手段を組み合わせることによって、より一層の環境負荷削減の効果が期待できます。

そこで、このたび都営地下鉄浅草線の10駅（西馬込、日本橋、浅草、押上駅等）近傍にカーシェアリングステーションを設置し、2月上旬からこれを活用したモデル事業を実施することとしました。

また、交通系ICカードの一つであるパスモカードでの、車の施錠管理が可能であり、異なる交通手段間でのシームレスな移動も確保されています。

この取組によって、今まで乗用車のみで長距離を移動していた営業担当者が、目的地の最寄駅まで地下鉄を利用し、駅から目的地までカーシェアリング車両を利用することで、渋滞回避や環境負荷の低減が可能となります。

また、同沿線に住むマイカー保有者は、カーシェアリングに切り替えることで車にかかるコストを削減できます。

こうしたカーシェアリングと公共交通機関（地下鉄）との連携は、全国初の取組であり、8月上旬までの取組状況など検証した上で、他線への拡大なども検討していきます。

今回、この環境にやさしいモデル事業のために、オリックス自動車株式会社では、浅草線をよく利用する方には、カーシェアリングの入会金割引のキャンペーンを実施していますので、詳しく下記ホームページなどを参照してください。

<東京都環境局自動車公害対策部 ホームページ>

<http://www2.kankyo.metro.tokyo.jp/jidousya/kotsuryo-taisaku/index.html>

<東京都交通局（都営地下鉄浅草線） ホームページ>

<http://www.kotsu.metro.tokyo.jp/>

<プチレンタ（オリックス自動車株式会社） ホームページ>

<http://www.orix-carsharing.com/>